**器官制御外科学講座　産科婦人科学分野教授候補者**

**教育・研究・診療及び管理運営等に関するアンケート**

候補者 現職

氏名

**１．医学教育**

①　学生（大学院生を含む）に対する講義，実習経験（担当分野と担当年数）

　　　　担当分野　　　　　講義・実習区分　　　　　　担当年数

②　学生の動機付けを高めるために工夫された点を含め，これまで臨床医学教育において試みてこられた工夫等について記載して下さい。

③　医学教育の分野別評価基準日本版（世界医学教育連盟グローバルスタンダード 2015年版準拠）に沿った教育プログラムの見直しが各大学で進んでいます。今後の臨床医学教育の中でどのような取り組みを行うべきか記載して下さい。その中で特に重視すべきとお考えの点についても記載して下さい。

④　臨床実習において，学生に産科婦人科学の魅力を効果的に教えるための工夫等があれば記載して下さい。

⑤　研究マインドを持たない医師が増えており，将来の日本の医学・医療のレベル低下に結びつくことが危惧されています。医学教育の中で研究マインドを醸成するための方策等についてお考えがあれば記載して下さい。

⑥　地域における人材確保のために，学生に対する取り組みをいかにすべきか，ご意見を述べて下さい。また入試における地域枠に対するお考えも述べて下さい。

⑦　初期臨床研修および産婦人科専門医育成におけるこれまでの実績について記載して下さい。

⑧　新専門医制度が開始されている中で今後の大学院教育等による研究者育成方針について述べて下さい。また，学位取得時期についても意見を述べて下さい。

⑨　産科婦人科学のサブスペシャリティー領域である、周産期（母体・胎児）専門医、婦人科腫瘍専門医、および、生殖医療専門医の育成に関するこれまでの実績および育成方針について記載してください。

⑩　山陰における産科婦人科関連の救急医療体制についてお考えがあれば記載してください。

　⑪　ウィズコロナ・ポストコロナ時代における医学教育の工夫について，ご自身の経験も踏まえて，お考えを記載してください。

**２．研究**

①　教室員・大学院生その他に対する研究指導実績（できるだけ具体的に）について記載してください。

②　施設内における専門的な研究グループの指導的位置にあるとすれば，その名称と年数について記載してください。

③　他施設との共同研究の実績（研究グループを結成しているなら，その名称，役割および年数）について記載してください。

④　提出いただいている研究業績目録の中で，Web of Scienceによる被引用回数の多い順に10編の原著論文とその被引用回数を以下に記載して下さい。（論文の記載様式は研究業績目録と同様で，筆者名，雑誌名なども記載）

⑤　これまでに自らが中心的役割を担った臨床研究の中で UMIN，jRCT， ClinicalTrials.gov などに登録したものがあれば，その研究名，ID，自らの役割について，代表的なもの５つ以内で記載して下さい。論文として発表しているものがあれば，その論文名も合わせて記載して下さい。

⑥　これまで行ってきたご自分の研究の特色と今後の研究における抱負を述べて下さい。鳥取大学に赴任した場合の研究の継続性についても触れて下さい。

**３．診療**

①　これまでの臨床経験についてお答え下さい。

１）専門医としての経験期間

専門名（ 　　　　　　 ）　年数（ 　　年　　月）

２）病棟・外来など診療業務での指導・管理実績（内容とその期間）

②　これまでの手術実績

2016年〜2020年の期間に執刀もしくは指導された手術症例数につき，手術名，難易度（外保連試案2020の技術度A-E），術者としての件数，指導した件数　の順で記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 手術名 | 難易度 | 術者件数 | 指導件数 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |

※適宜セルを追加して使用してください。

③　2016年〜2020年の期間に術者として経験した代表的手術例10例の手術記録

のコピー（患者氏名，ID等個人情報はマスクしてください）

④　ご専門の領域における診療レベルおよび実績の向上のために，これまでに取り組まれてきたこと，その実績について記載して下さい。

⑤　診療科間の連携および多職種によるチーム医療の推進が求められていますが，これまでの実績，今後の方針について記載して下さい。特に他の診療科（小児科・小児外科・泌尿器科・消化器外科など）との連携について詳しく述べてください。

⑥　治験の実績と今後の取り組みに関するご意見を述べて下さい。

　⑦　産学連携の実績と今後の取り組みに関するご意見を述べて下さい。

⑧　今後の診療における抱負を述べて下さい。ご自身の専門分野とそれ以外の分野に分けて記載下さい。

**４．大学・施設・学会等の管理運営**

①　大学・施設内における役職や所属する委員会の名称と年数について記載してください。

(注)管理・運営関係以外で特記すべき役職経験があれば余白にお書き下さい。

役職名又は委員会名　　　　　　　　　　　 年数

②　国内外での学会等における役職や所属する委員会の名称と年数について記載してください。

　(注)管理・運営関係以外で特記すべき役職経験があれば余白にお書き下さい。

　　　　役職名又は委員会名　　　　　　　　　　　 年数

**５．鳥取大学医学部にご赴任になった場合の教室の運営方針**

①　産科婦人科学分野を担当する上での教育・研究・診療に関する運営方針を述べて下さい。

②　地域医療の中心を担う大学医学部の教室としての運営方針。この中で，今まで所属していた機関での地域連携および医師派遣体制を踏まえて，赴任後の地域医療機関への医師派遣システムに関するお考えも述べて下さい。

③　「人材確保」すなわち，入局者を増加させるための方策について，これまでの取り組みや，着任後の人材確保にお考えがあれば述べて下さい。

④　産科婦人科医療について，これまでの地域等における関連病院との連携，機能分担に対する取り組み，および，着任後の方針について述べてください。

**６．その他参考となる事項**（これまでに査読した論文の雑誌名など。履歴書および研究業績目録の記載内容との重複は避ける。）